

2010 AUTOBACS SUPER GT 第3戦 FUJI GT 400km RACE

2010年5月1日(土)~5月2日(日)

予選 レポート

場所:富士スピードウェイ / 天候:晴れ / 気温: 20℃ / 観客動員数:26,500人



第2戦岡山では無事完走する事が出来たが、チームとしてはよりマシンのポテンシャルを上げるため出来る限りの対策を施し富士に臨んだ。今回の第3戦富士は今後の車両大幅改造に向けての技術的確認も兼ねた重要な1戦である。

5月1日(土)

<公式練習>



朝からサーキット上には雲ひとつ無い晴天の中、午前9時00分、公式練習走行開始。

まずは山野がマシンに乗り込みピットを後にする。マシンチェックを中心にストレートを2回通過してピットに戻る。ドライバーからも特に問題無しとのコメント。メカニックによる入念なマシンチェックを済ませ午前9時13分再びピットアウトし本格的な

走行を開始する。現時点でのトップタイムは#25 ポルシェの1分44秒3である。山野は1分46秒台のタイムで周回する。「車のセットが決まっていない、アンダーである」とのコメントがドライバーから無線で入るが、タイムからいうと今回の車両改造の方向性は間違っていないようだ。

午前9時33分、佐々木に交代して再びコースへ。佐々木のコメントも山野と同じである。

エンジニアの阿立は出来る限りの対策を施すが、やはり走行データが少なく、なかなか思い通りの方向に車をセット出来ない。タイムは1分46秒台、順位は19位である。午前10時25分、再び佐々木から山野へ交代し、出来る限りのセットアップを試し、午前10時45分、公式練習は終了した。



www.rdsport.net

<予選1回目>

午後1時50分から予選がスタートした。今回の予選方式はスーパーラップ方式である。予選1回目で8位までに入った車両がスーパーラップに進むことができる。但し両ドライバーが基準タイムをクリアしなければならない。まずは山野がマシンに乗り込みアタックに入る。3周目、1分45秒464のタイムをマーク、この時点でクラス3番手、まずまずのタイムである。山野はピットにマシンを戻した。



ここで、ドライバーを佐々木にチェンジ。まずは予選通過基準タイムをクリア。10分間の300クラス専有走行による予選にそなえる。午後2時15分、佐々木が再びピットアウト、しかしコース上のクラッシュ部品回収の為赤旗中断。1周目にピットに戻る。予選アタック用ニュータイヤを上手に温めたい時に痛手である。その後すぐに予選再開アタックに入る。3周目1分46秒579、タイムが全然伸びない。佐々木から「曲がらない、アンダーステアがひどくアタックできる状態にない」とのコメントが入る。結果20位で予選を終えた。明日の決勝までに何をすべきか、課題の多い1日となった。なお、その後実施されたスーパーラップ予選によりポールポジションは、#33 HANKOOK PORSCHE となった。



■本島監督コメント

予選走り出し、山野のタイムはまずまずであったので、300専有の予選には佐々木に交代し大きく車のセットを変えて臨んだのですが、結果としてだめでした。やはりデータの不足している新型車はこの様な時、非常に不利ですね。決勝に向けては良い方向に出来ると思いますので、明日は1台ずつ抜いて、結果トップ10に入れるレースをしたいと思います。みなさん応援宜しくお願い致します。

予選の詳細に関しては SUPER GTホームページ <http://supergt.net/jp/>

またSUBARUモータースポーツニュース <http://www.subaru-msm.com/news/> もご覧ください

2010年5月1日
SUBARU LEGACY B4
TEAM アールアンドデースポーツ
<http://www.rdsport.net/>



www.rdsport.net